DENON

CDレシーバー

RCD-M38

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。
  詳しくは、「保証と修理について」（☞29 ページ）をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。
火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。
機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

高温注意

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽症を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切っても電源コンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

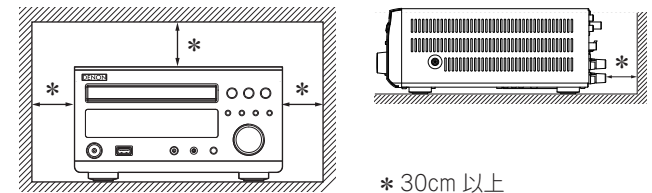
5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。

＊30cm 以上

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

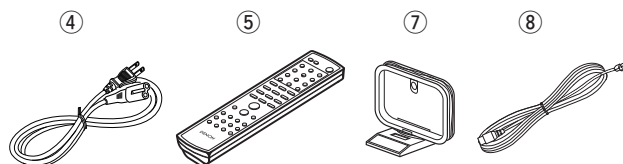
移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

付属品を確認する

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）...1
② 保証書（梱包箱に貼り付けています）..............................1
③ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内 1
④ 電源コード【本機専用】（長さ：約2m）... 1
⑤ リモコン（RC-1127）...1
⑥ 単4形乾電池...2
⑦ AMループアンテナ 1
⑧ FM室内アンテナ 1

④ ⑤ ⑦ ⑧

本書について

❏操作説明のボタンについて

本書の操作説明は、リモコンの操作ボタンをメインに説明しています。

❏マークについて

☞ このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

ご注意 このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

❏イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

本機の特長

ヨーロピアン・サウンド・チューン

クラシック音楽の本場ヨーロッパのサウンドデザイナーとDENON のエンジニアとのコラボレーションによるヨーロピアン・サウンド。試聴・チューニングをくり返し妥協のない高音質を実現しました。

シンプル＆ストレート・サーキット・デザイン

DENON のハイコンポ“M シリーズ”は、高級 Hi-Fi コンポと同じ一貫した思想のもとに高音質を実現させています。余分な回路、複雑な信号経路によって音声信号に悪影響を及ぼすことなく、もっとも忠実に音声信号を再生できるようにシンプルでストレートな信号の流れを実現させる構造・回路設計を施しています。このサーキットデザインが澄み切った無垢な洗練された音を生み出しています。

ハイパワーアンプ

横幅 210mm、奥行き 309mm というコンパクトな筐体に30W+30W の出力を発揮するパワーアンプを搭載。パワーアンプの基板のベースには、熱伝導率、電磁シールド効果の優れた材質を用いることで、放熱性とノイズ低減効果を高め、さらに回路の低インピーダンス化にも成功しました。これにより低域の力強さ、キレのある高域、パワフルなサウンドを実現しています。

トリプル・ノイズ・リダクション・デザイン（T.N.R.D）

（1）サウンドのクオリティを高めるミニマムシグナルパス回路構成
（2）デジタル部とアナログ部の分離設計
（3）ピュアな音声信号を再生するための適確なグランド回路

パワーアンプ回路だけを強力にしても、さまざまな回路や基板・配線のレイアウトが影響し合うオーディオ機器では、満足したスペックやサウンドを得ることはできません。影響し合う 3 つのノイズ要因を徹底的に排除していくことで、濁りのない原音に近い澄んだ美しさを引出しています。

iPod&USB メモリーのデジタル伝送方式による再生が可能な USB 端子装備

iPod または USB メモリーに保存した音楽ファイルをダイレクトに再生できます。本機は、iPod のデジタル音楽ファイルをデジタル信号のままで入力します。本機の優れた音声回路や高精度の D/A コンバーターを経由することで、原音に迫る再生を実現します。ファイルの選択はリモコン操作でおこない、ディスプレイにはファイル名などを表示します。

＊ 第 5 世代以降の iPod に対応。USB メモリーはマスストレージクラス対応。

DENON CX スピーカーシリーズの思想・技術を系譜

スピーカーシステム SC-M37 は、DENON CX スピーカーシリーズの思想と技術を受け継ぎ、コンパクトスピーカーとは思えないスケール感と卓越した音楽表現を実現しました。D.D.L. コーンやソフトドームツィーターを採用し、新開発のクロスネットワーク回路は、本機との組み合わせによるチューニングを実施。システムオーディオとしての最高のパフォーマンスを発揮します。

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ 音楽用CD

本機で使用できる CD は、右のマークが付いているものです。

❷ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ファイナライズとは？

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

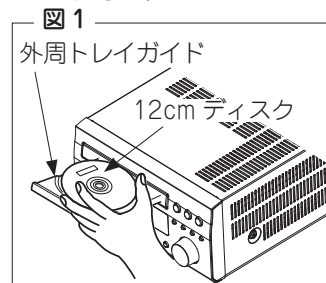
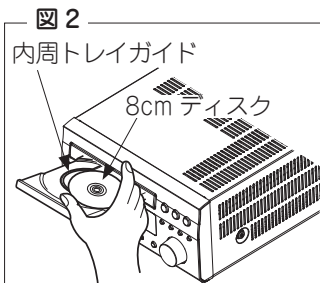
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に置いてください。

図 1

図 2

- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて置いてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、“00 Tr 00 : 00”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC”を表示します。

ご注意

- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

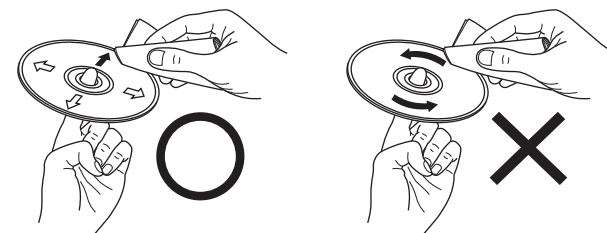
取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてく
- ださい。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。　円周に沿っては拭かない。

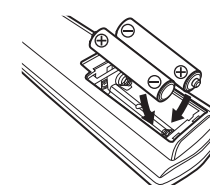
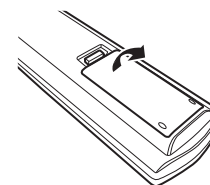
ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。

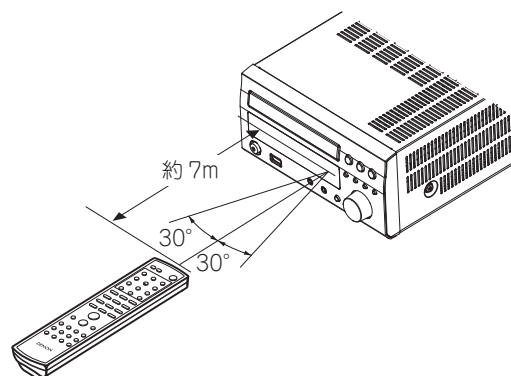
② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示とおりに入れる。

③ 裏ぶたを元どおりにする。

リモコンについて

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 乾電池を直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内に付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。

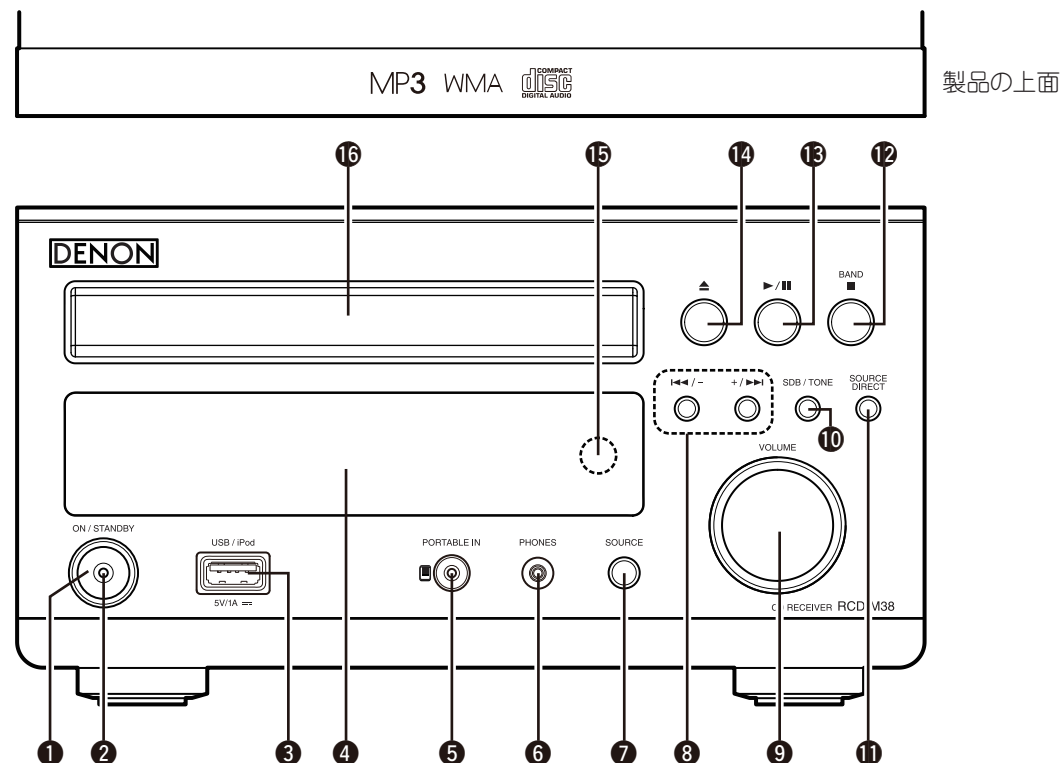
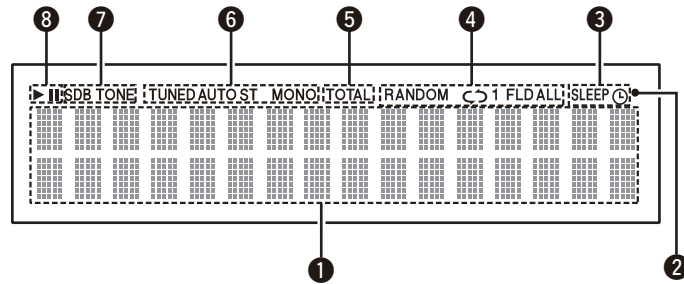
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなる場合があります。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源操作ボタン(ON/STANDBY) ……(11)
❷ 電源表示 ……(11)
❸ USB端子(USB/iPod) ……(18)
❹ ディスプレイ
❺ ポータブル入力端子(PORTABLE IN) ……(23)
❻ ヘッドホン端子(PHONES) ……(13)
❼ ファンクション切り替えボタン(SOURCE) ……(11)
❽ スキップ/選局ボタン(I◀◀/–、+/▶▶I) ……(14、17)
❾ 主音量調節つまみ(VOLUME) ……(12)
❿ スーパーダイナミックバス/トーン調節ボタン(SDB/TONE) ……(13)
⓫ ソースダイレクトボタン(SOURCE DIRECT) ……(13)
⓬ 受信バンド/ストップボタン(BAND/■) ……(14、16)
⓭ プレイ/ポーズボタン(▶/❚❚) ……(14)
⓮ ディスクトレイ開閉ボタン (⏏) ……(11)
⓯ リモコン受光部 ……(4)
⓰ ディスクトレイ ……(3)

ディスプレイ

❶インフォメーションディスプレイ
いろいろな情報を表示します。

❷リモコン信号受信表示

❸スリープタイマー動作表示

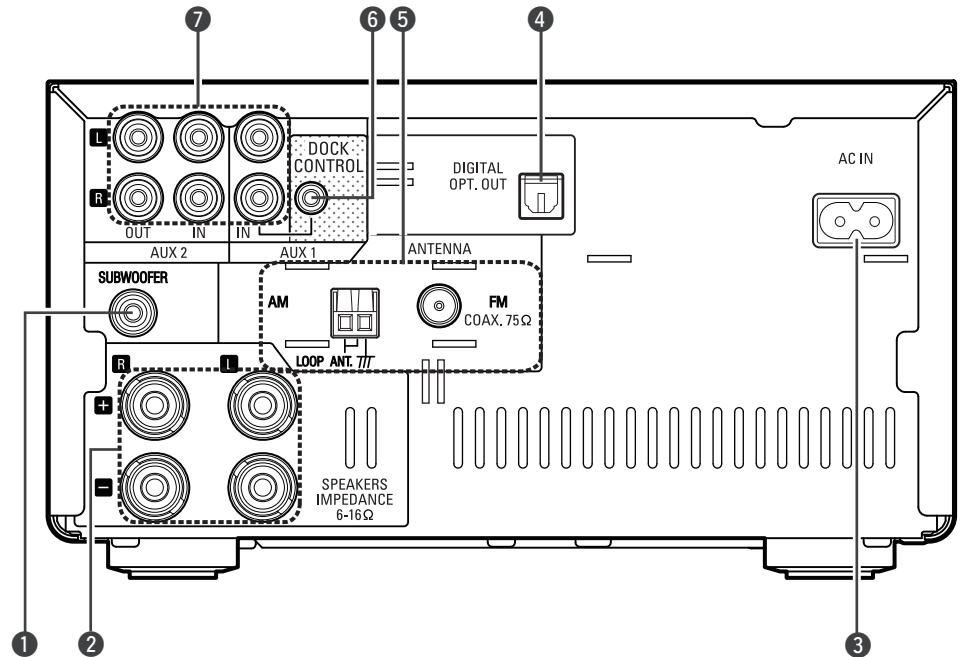
❹再生モード表示……………………（14、20、23）

❺トータル表示（TOTAL）
CD の総曲数や総時間を表示中に点灯します。

❻チューナー受信モード表示………………（16）

❼トーン表示……………………………………（13）
SDB:　スーパーダイナミックバス（SDB）機能が“ON”のときに点灯します。
TONE: 音質（低音 / 高音）を調節しているときに点灯します。

❽再生モード表示
▶: 再生中に点灯します。
❚❚: 一時停止中に点灯します。

リアパネル

❶サブウーハー端子（SUBWOOFER）……（8）

❷スピーカー端子……………………………（8）

❸ACインレット（AC IN）…………………（10）

❹デジタル音声出力端子
（DIGITAL OPT.OUT）……………………（9）

❺FM/AMアンテナ端子……………………（9）

❻ドックコントロール端子
（DOCK CONTROL）………………………（18）

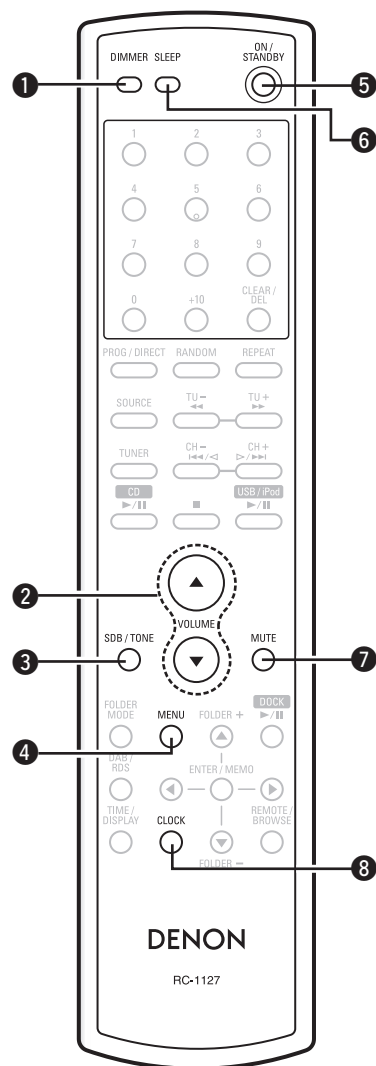
❼アナログ音声入出力端子
（AUX1/AUX2）……………………………（9）

ご注意

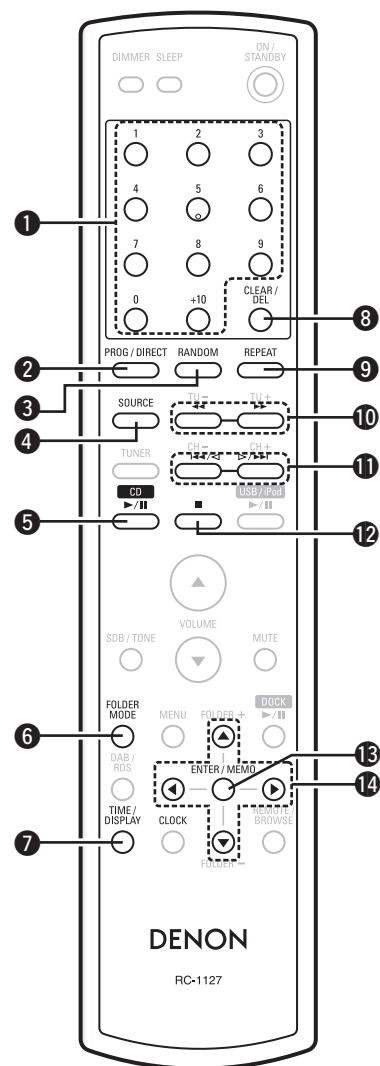
デジタル音声出力端子からは、本機で再生した CD のデジタル音声のみを出力します。

リモコン

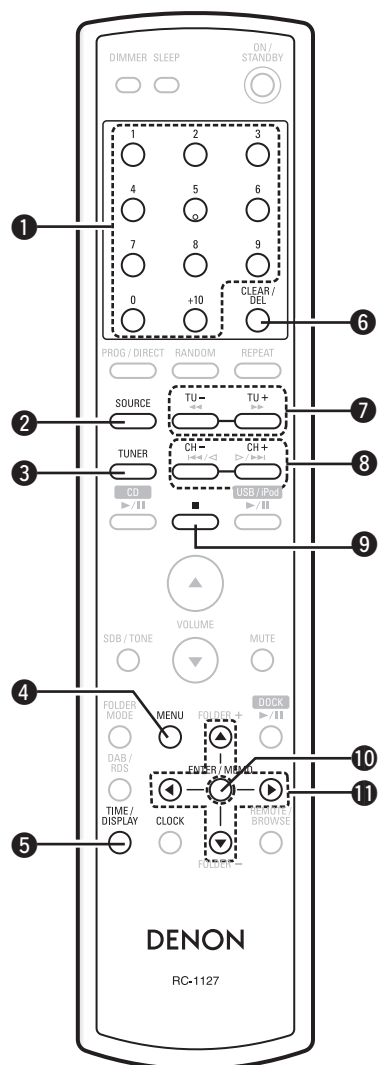
各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページを参照してください。

❑すべてのファンクション (CD、TUNER、iPod および USB) のときに操作できるボタン

❶ディマーボタン(DIMMER)··························(12)
❷主音量調節ボタン(VOLUME)······················(12)
❸スーパーダイナミックバス/トーンコントロールボタン(SDB/TONE)··(13)
❹メニューボタン(MENU)····(12、16、17、24、26)
❺電源ボタン(ON/STANDBY)·······················(11)
❻スリープタイマーボタン(SLEEP)···············(25)
❼消音ボタン(MUTE)···································(12)
❽クロックボタン(CLOCK)····························(12)

❑ファンクションが “CD” のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶番号ボタン ···(14)
❷プログラム/ダイレクトボタン(PROG/DIRECT)···································(15)
❸ランダムボタン(RANDOM) ·······················(14)
❹ファンクション切り替えボタン(SOURCE)···(11)
❺CDプレイ/ポーズボタン(CD ▶/❚❚) ··········(14)
❻フォルダモードボタン(FOLDER MODE)·····································(20)
❼タイム/ディスプレイボタン(TIME/DISPLAY)·······························(15、21)
❽クリアー/デリートボタン(CLEAR/DEL)··(15)
❾リピートボタン(REPEAT)·························(14)
❿早送り/早戻しボタン(◀◀、▶▶) ···············(14)
⓫スキップボタン(❙◀◀、▶▶❙) ······················(14)
⓬ストップボタン(■)·································(14)
⓭エンター/メモリーボタン(ENTER/MEMO)··(21)
⓮カーソルボタン(△▽◁ ▷)··························(20)

❑ファンクションが “TUNER” のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶番号ボタン……………………………(17)

❷ファンクション切り替えボタン（SOURCE）……………………………(16)

❸チューナーボタン（TUNER）……………(16)

❹メニューボタン（MENU）…………(16、17)

❺タイム/ディスプレイボタン（TIME/DISPLAY）

❻クリアー/デリートボタン（CLEAR/DEL）……………………………(17)

❼選局ボタン（TU+、TU–）…………………(16)

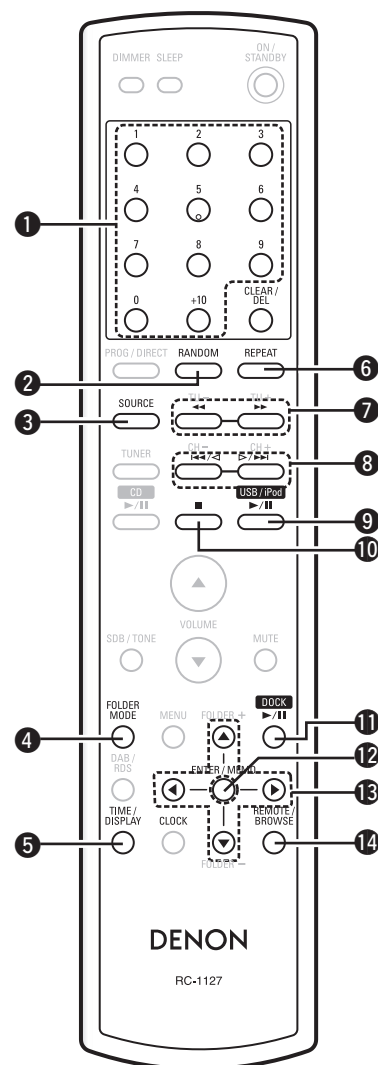
❽チャンネル選択ボタン（CH+、CH–）…(17)

❾ストップボタン（■）……………………(16)

❿エンター/メモリーボタン（ENTER/MEMO）…………………(16～17)

⓫カーソルボタン（△▽◁ ▷）………(16～17)

❑ファンクションが “iPod”、“USB” のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶番号ボタン……………………………(23)

❷ランダムボタン（RANDOM）……(22、24)

❸ファンクション切り替えボタン（SOURCE）……………………………(19)

❹フォルダモードボタン………………(23)

❺タイム/ディスプレイボタン（TIME/DISPLAY）…………………(22、24)

❻リピートボタン（REPEAT）………(22、24)

❼早送り/早戻しボタン（◀◀、▶▶）…………………………(22、24)

❽スキップボタン（|◀◀、▶▶|）………(22、23)

❾USB/iPod プレイ/ ポーズボタン（USB/iPod ▶/❚❚）…………………(22、23)

❿ストップボタン（■）……………………(24)

⓫iPod プレイ/ ポーズボタン（DOCK ▶/❚❚）…………………………(22)

⓬エンター/メモリーボタン（ENTER/MEMO）…………………(22、23)

⓭カーソルボタン（△▽◁ ▷）………(22、23)

⓮リモートモード/ブラウズモード切り替えボタン（REMOTE/BROWSE）…………(22)

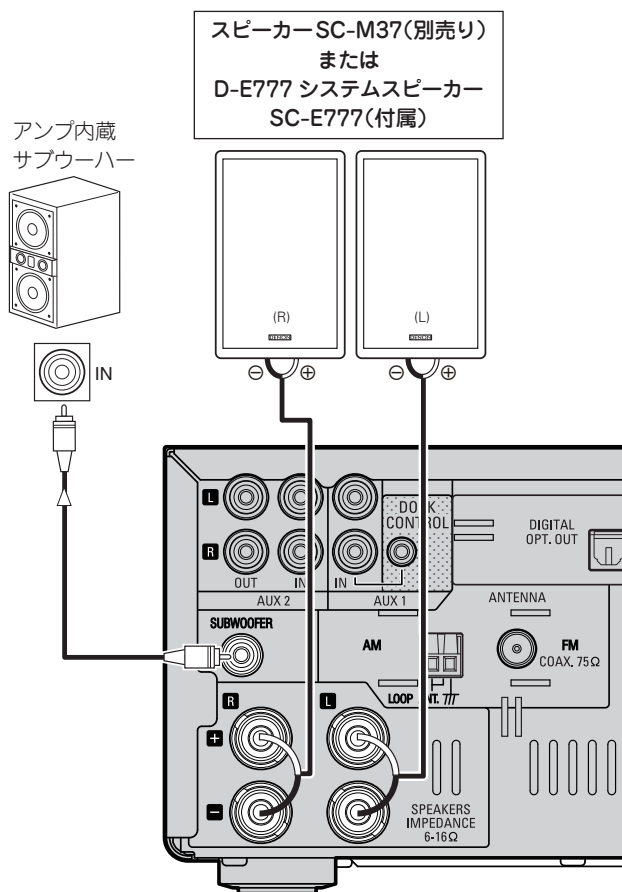
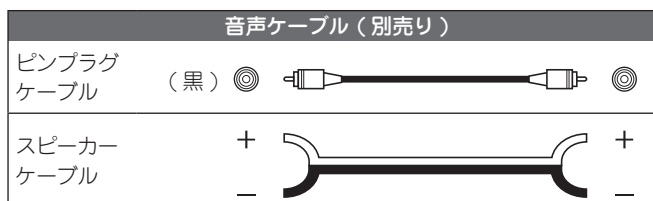
基本接続

この章では、スピーカー、録音機器およびアンテナの接続方法を説明します。
その他の機器の接続方法は、以下のページをご覧ください。

❑ **iPod 用コントロールドック**（☞18 ページ）
❑ **USB メモリー**（☞18 ページ）
❑ **iPod®**（☞18 ページ）

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しく L と L、R と R を接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルを一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。

スピーカーの接続

スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、＋(赤)、－(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理(半田付け)をおこなう。

2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。

3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

4 スピーカー端子を右に回して締める。

❑バナナプラグをご使用になる場合

スピーカー端子を右に回して締めてから、バナナプラグを差し込む。

ご注意

- スピーカーは、インピーダンスが 6～16 Ωのものをお使いください。指定されたインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作することがあります。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が動作します（☞9 ページ「保護回路について」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

次のときに保護回路が動作します。

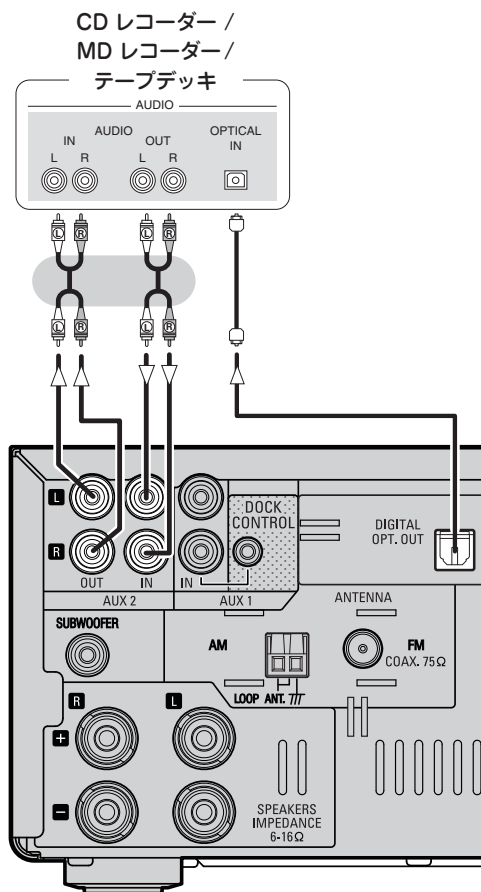
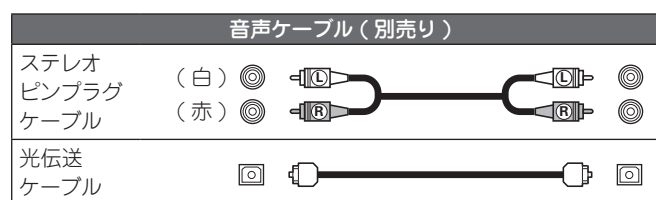
- スピーカーケーブルの芯線がリアパネルやねじに接触したり、スピーカーケーブルの+、−側が接触しているとき
- 本機の周囲の温度が異常に高くなったとき
- 長時間大出力で使用して内部の温度が上昇したとき

保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が赤色に点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。そのあと、もう一度電源コードを入れ直してください。

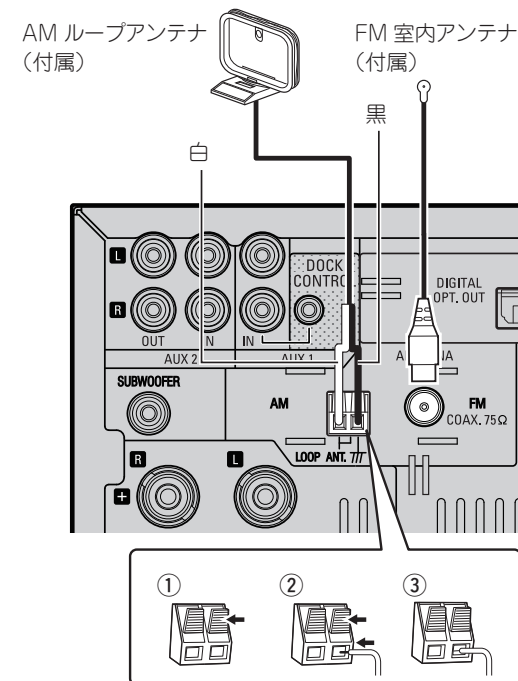
本機の周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、当社の修理相談窓口にご連絡ください。

録音機器の接続

CD レコーダーや MD レコーダー、テープデッキを接続する

音声ケーブル（別売り）	
ステレオピンプラグケーブル	（白）（赤）
光伝送ケーブル	

アンテナの接続

FM/AM アンテナを接続する

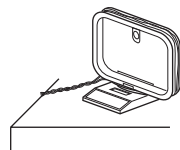
- 本機に付属の FM アンテナや AM ループアンテナを接続すると、ラジオ放送を楽しむことができます。
- アンテナを接続したあとに放送を受信（☞16 ページ「放送局を受信する」）し、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。

AM や FM の受信感度は、アンテナの設置場所や設置方向により変わります。最もよく受信できるところに設置してください。

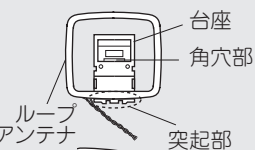
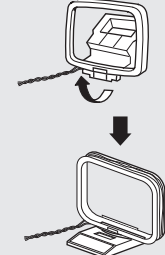
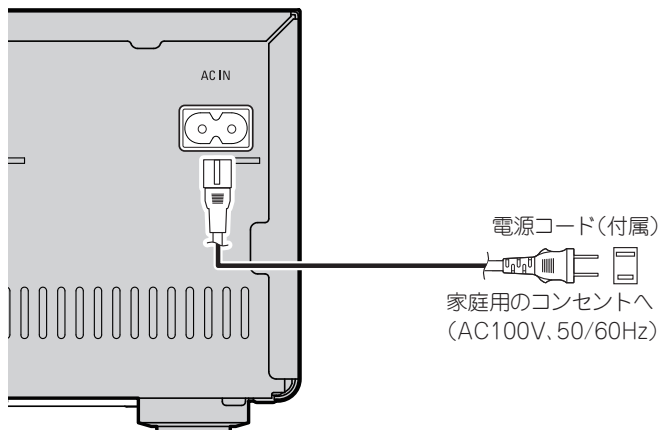
AM ループアンテナの使いかた

❏壁に掛けて使う

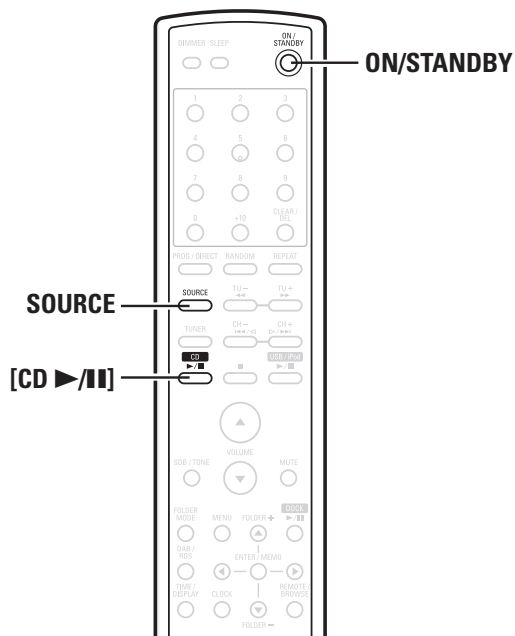
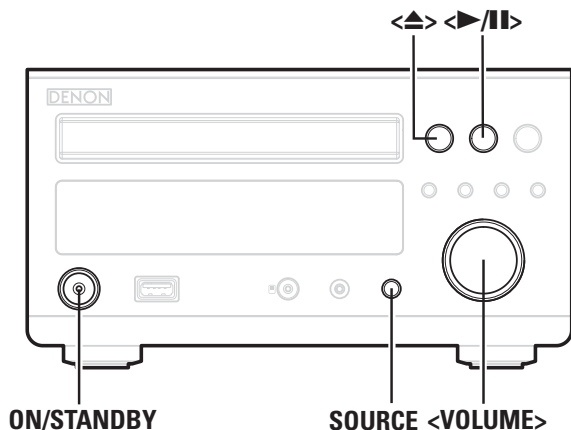
組み立てずに、そのままお使いください。

❏置いて使う

図のように組み立ててお使いください。

AM ループアンテナの組み立てかた

1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。

2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。

電源コードの接続

ご注意

- 付属の電源コード以外は、使用しないでください。
- 本機の AC インレットへの電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

基本操作

この章では、現在時刻の設定方法や CD の再生方法、チューナーの受信方法を説明します。
その他の操作方法は、以下の章をご覧ください。

❑ **MP3 と WMA ファイルの再生**（☞20 ページ）
❑ **iPod 用コントロールドック /iPod® の再生**（☞21 ページ）
❑ **ポータブルプレーヤーの再生**（☞23 ページ）
❑ **USB メモリーの再生**（☞23 ページ）
❑ **タイマー設定**（☞24 ページ）

準備

電源を入れる

ON/STANDBY を押す。

- 電源が入ります。
  もう一度押すと、電源がスタンバイ状態になります。
- 電源表示について
  電源スタンバイ.................. 消灯
  電源オン............................ 緑色
  タイマー設定時.................. オレンジ色

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**ON/STANDBY** を押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。

ディスクを再生する前に

1 **ON/STANDBY を押す。**

2 **SOURCE を押して、ファンクションを“DISC”に切り替える。**

- ディスクトレイにディスクが入っていないときは、“NO DISC”を表示します。

3 **ディスクを入れる（☞3 ページ）。**
<▲> を押して、ディスクトレイを開閉します。

- **<▶/❚❚>** または **[CD ▶/❚❚]** を押しても、ディスクトレイを閉じることができます。

ご注意

ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

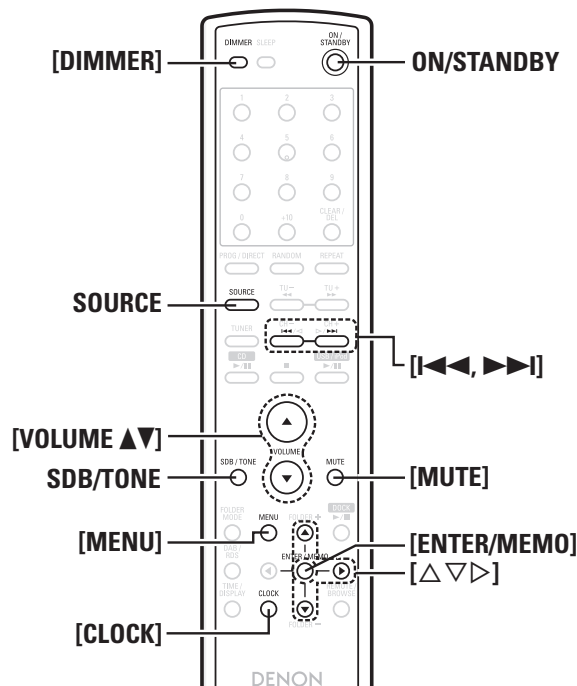
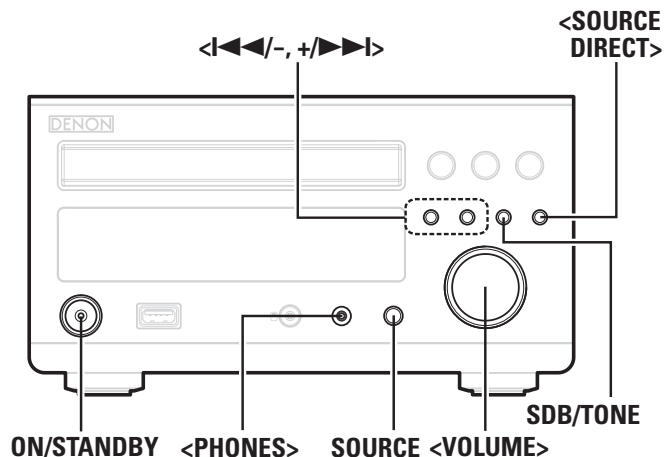
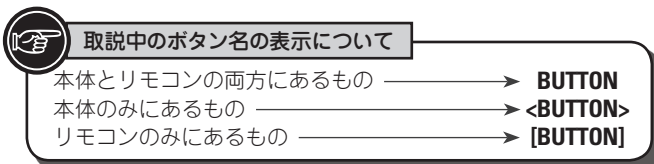
電源を切る

ON/STANDBY を押す。
電源表示が消灯し、電源が切れます。

ご注意

- 再生を停止してから、電源を切ってください。
- 電源を切る前に、ディスクトレイが完全に閉まっていることを確認してください。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

❑電源を完全に切るには

電源コードを壁のコンセントから抜く。
- 電源コードをコンセントから抜くと、時刻設定が解除されますのでご注意ください。

現在時刻の合わせかた（24 時間表示）

【例】現在時刻を午前 10 時 15 分に設定する

1 **ON/STANDBY を押して、電源を入れる。**

2 **[MENU] を押す。**
設定メニューを表示します。

3 **[△▽] を押して“CLOCK SETUP” を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**
“時”表示が点滅します。

MENU
CLOCK SETUP

4 **[△▽] を押して、“時”を設定する。**

CLOCK SETUP
10 : 00

5 **[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**
“分”表示が点滅します。

6 **[△▽] を押して、“分”を設定する。**

CLOCK SETUP
10 : 15

7 **[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**
現在時刻を確定し、通常の表示に戻ります。

❑電源がオンのときに現在時刻を確認するには

[CLOCK] を押す。
もう一度 **[CLOCK]** を押すか、他の操作をおこなうと、通常の表示に戻ります。

❑電源がスタンバイ状態のときに現在時刻を確認するには

[CLOCK] を押す。
約 10 秒間、現在時刻を表示します。

ご注意
電源がスタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

再生中にできる操作

音量を調節する

<VOLUME> を回すか、[VOLUME ▲▼] を押す。
音量レベルを表示します。

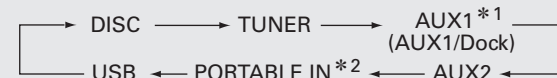
【調節できる範囲】 VOLUME 00～45, VOLUME MAX

一時的に音を消す（ミューティング）

[MUTE] を押す。
ディスプレイに“MUTE ON”を表示します。

解除するときは、もう一度 **[MUTE]** を押してください。
（**<VOLUME>** を回すか、**[VOLUME ▲▼]** を押しても解除できます。）

ファンクションを切り替える

SOURCE を押して、ファンクションを切り替える。

＊1 “AUX1”を表示中に iPod 用コントロールドックを接続すると、“AUX1/Dock”表示になります。
＊2 “PORTABLE IN”は接続時のみ表示します。

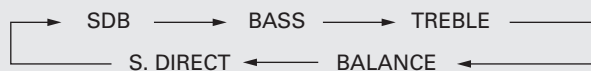
ディスプレイの明るさを切り替える

[DIMMER] を押す。

明るい → 中間 → 暗い → 消灯 → 明るい

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。

音質を調節する

1 **SDB/TONE を押して、調節する項目を選ぶ。**

2 **<I◀◀/–、+/▶▶I>、[I◀◀、▶▶I] または [◁ ▷] を押して、音質を調節する。**

- 続けて他の音質を調節するときは、**SDB/TONE** を押してください。
- 約 5 秒間操作をしないと調節した状態を保持して、通常の表示に戻ります。

SDB スーパーダイナミックバス機能のオン／オフを切り替えます。低音を強調します。
【 調節できるモード 】 ON OFF

BASS 低音を調節します。
【 調節できる範囲 】 –10dB 〜 +10dB

TREBLE 高音を調節します。
【 調節できる範囲 】 –10dB 〜 +10dB

BALANCE 左右の音量バランスを調節します。
【 調節できる範囲 】 L06 〜 CENTER 〜 R06

S.DIRECT ソースダイレクトモードで再生します。
ソースダイレクトモードでは、音声信号が音質調節回路（SDB/BASS/TREBLE/BALANCE）を通らないため、より原音に忠実な再生ができます。

【お買い上げ時の設定】
- SDB................................OFF
- BASS..............................0dB
- TREBLE..........................0dB
- BALANCE...............CENTER
- S.DIRECT........................OFF

✎

- “SDB” がオンのときに "BASS" を調節することができます。
- ソースダイレクトモードは、**<SOURCE DIRECT>** を押しても設定できます。

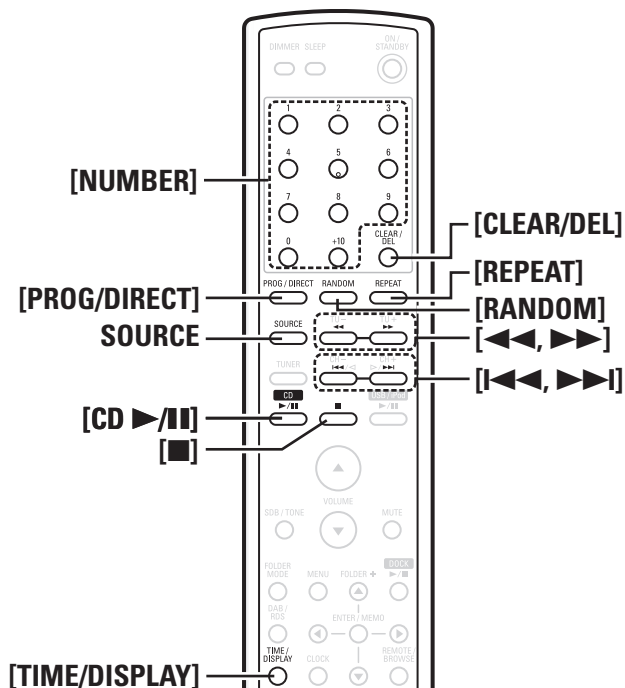
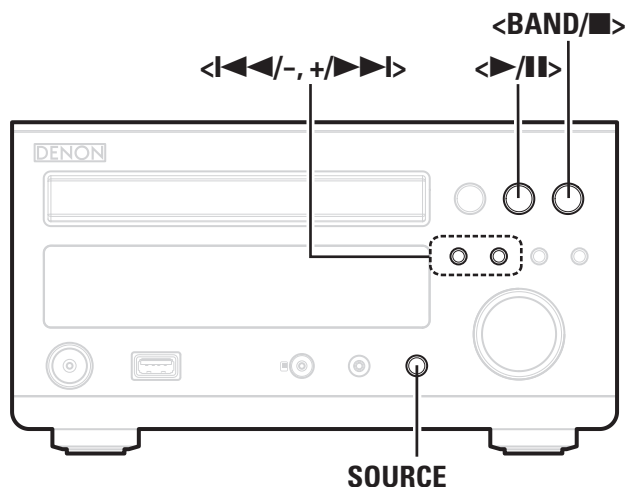
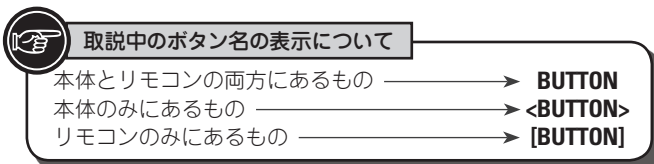
ヘッドホンで聴く

<PHONES> 端子にヘッドホン（別売り）プラグを差し込む。

- 自動的にスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

ご使用になる前に
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
用語の解説
故障かな？と思ったら
保証と修理について
主な仕様
索引

CD の再生

この章では、CD の再生方法を説明します。
その他のメディアの再生方法は、以下の章をご覧ください。

- ❑ **MP3 と WMA ファイルの再生**（☞20 ページ）
- ❑ **iPod 用コントロールドック /iPod® の再生**（☞21 ページ）
- ❑ **ポータブルプレーヤーの再生**（☞23 ページ）
- ❑ **USB メモリーの再生**（☞23 ページ）

CD を再生する

あらかじめ、「ディスクを再生する前に」（☞11 ページ）の操作をおこなってください。

<▶/II> または [CD ▶/II] を押す。
ディスプレイの“▶”表示が点灯し、再生を始めます

- ファンクションが“DISC”以外のときに **[CD ▶/II]** を押すと、ファンクションが“DISC”に切り替わり、CD の再生を始めます（☞26 ページ「オートファンクション機能」）。
- **SOURCE** を押して、ファンクションを“DISC”に切り替えることもできます。

❑再生を停止するには

<BAND/■> または **[■]** を押す。

❑再生を一時停止するには

<▶/II> または **[CD ▶/II]** を押す。
II 表示が点灯します。
- 再生を再開するときは、**<▶/II>** または **[CD ▶/II]** を押してください。

❑早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に、**[◀◀、▶▶]** を長押しする。

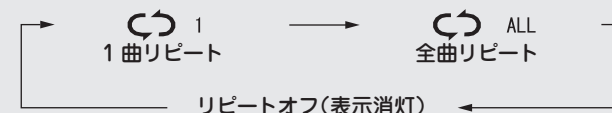
❑頭出し（スキップ）をするには

再生中に、**<I◀◀/–、+/▶▶I>** または **[I◀◀、▶▶I]** を押す。
- 押した回数だけ曲を飛び越します。
- 戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❑好きな曲を聞くには（リモコンのみ）

[NUMBER]（**0**～**9**、**+10**）で番号を選ぶ。
【 例 】4 曲目 ：**[4]**
【 例 】12 曲目：**[+10]**、**[2]**
【 例 】20 曲目：**[+10]**、**[+10]**、**[0]**

くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押す。
それぞれのくり返し再生を始めます。

【選択できる項目】

1（1 曲リピート）	1 曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	全曲をくり返して再生します。
リピートオフ（表示消灯）	通常の再生に戻ります。

ディスクトレイを開けたり、電源を切るとリピート再生を解除します。

順不同に再生する（ランダム再生）

1 **停止中に [RANDOM] を押す。**
“RANDOM”を表示します。

2 **<▶/II> または [CD ▶/II] を押す。**
順不同に再生を始めます。

ランダム再生中に **[REPEAT]** を押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

ご注意

再生中にランダム再生の設定および解除はできません。

❑ランダム再生を解除するには

停止中に **[RANDOM]** を押す。
“RANDOM”が消灯します。

ディスクトレイを開けたり、電源を切るとランダム再生を解除します。

好きな順に再生する（プログラム再生）

最大 25 曲までプログラムできます。

1 **停止中に [PROG/DIRECT] を押す。**
"PGM"を表示します。

2 **[NUMBER]（0 ～ 9、+10）を押して、曲番を選ぶ。**

【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合：
[PROG/DIRECT]、[3]、[+10]、[2]、[7] と押す。

3 **<▶/❚❚> または [CD ▶/❚❚] を押す。**
プログラムした順に再生を始めます。

❑プログラムした曲順を確認するには

停止中に ▶▶❙ を押す。
押すたびに、プログラムした順に曲番を表示します。

❑プログラムした最後の曲を取り消すには

停止中に **[CLEAR/DEL]** を押す。
押すたびに、プログラムの最後の曲を取り消します。

❑プログラムした 1 曲のみを取り消すには

停止中に ▶▶❙ を押して、取り消したい曲を選び、**[CLEAR/DEL]** を押す。

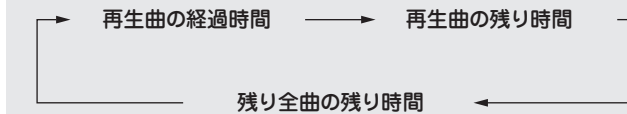
❑プログラムした曲をすべて取り消すには

停止中に **[PROG/DIRECT]** を押す。

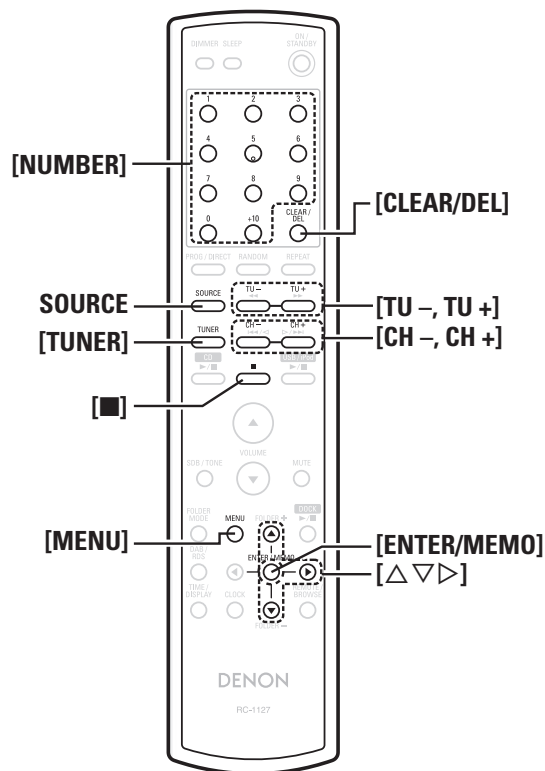
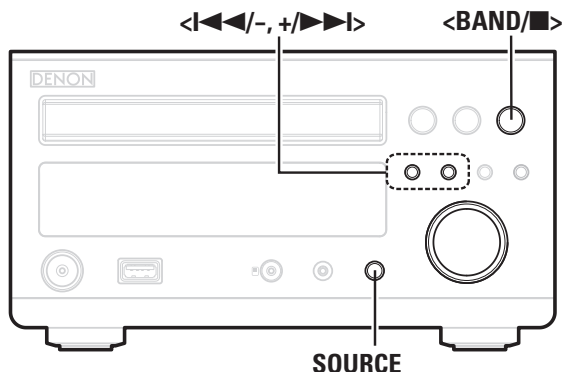
- プログラム再生中に **[REPEAT]** を押すと、プログラムした曲順に再生を繰り返します。
- プログラム再生中に **[RANDOM]** を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- ディスクトレイを開けたり、電源を切るとプログラムを解除します。

ディスプレイ表示を切り替える

[TIME/DISPLAY] を押す。

再生曲の経過時間 → 再生曲の残り時間 → 残り全曲の残り時間 → （再生曲の経過時間）

- ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。

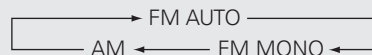
ご注意

ランダム再生中は、残り全曲の残り時間を表示しません。

チューナーを聴く

放送局を受信する

あらかじめアンテナを接続してください（☞9 ページ）。

1 **[TUNER] または <BAND/■> を押して、受信バンドを選ぶ。**

FM AUTO → FM MONO → AM → FM AUTO

【ディスプレイ表示について】

FM AUTO のとき .... “AUTO”を表示します。
FM MONO のとき .... “MONO”を表示します。
AM のとき .... 受信モードを表示しません。

2 **[TU –、TU +] を押して、受信周波数を選ぶ。**

受信すると、“TUNED”表示が点灯します。

- ファンクションが“TUNER” 以外のときに **[TUNER]** を押すと“TUNER”に切り替わります。
- **SOURCE** でファンクションを“TUNER” に切り替えることもできます。

❑オートチューニングするには

[TU –、TU +] を長押しすると、自動的に放送局を受信します。
- ただし、電波が弱い放送局は受信できません。

❑オートチューニングを停止するには

[TU –、TU +] を押す。

AM 放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ピー”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

FM 放送局を自動的にプリセットする（オートプリセット）

最大 99 局プリセットできます。

ご注意

AM 放送局はオートプリセットできません。

❑リモコンでのオートプリセットのしかた

この操作は FM 放送局の受信中におこなってください。

1 **[MENU] を押す。**

2 **[△▽] で“TUNER SETUP”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**

3 **[△▽] で“FM AUTO PRESET”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**

4 **“PRESET ENTER” の点滅中に [ENTER/MEMO] を押す。**

放送局を自動的にプリセットします。

オートプリセットを途中で止めるには

[TUNER]、**<BAND/■>** または **[■]** を押す。

アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。
このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。

NOTE

オートプリセットをおこなうと、それまでに登録していたプリセット内容を消去します。新しくプリセットする FM 放送局が、その消去されたプリセット番号に新たに登録されます。

❑プリセットしたチャンネルに放送局名を付ける

最大 8 文字まで入力できます。

1 **名前を付けるプリセットチャンネルを受信する。**

2 **[ENTER/MEMO] を 2 回押す。**
ディスプレイが放送局名入力表示になります。

3 **放送局名を入力する。**
最大 8 文字まで入力できます。
- [△、▽] .... 文字を選びます。
- [▷] .... カーソルを右に移動します。
- [CLEAR/DEL] .... 選択中の文字を消去します。

- 入力できる文字

A ～ Z, 0 ～ 9, ^ ' ( ) ＊ + , - . / = (空白)

4 **[ENTER/MEMO] を押す。**
文字の入力を確定します。
- 続けてプリセットをおこなうときは、手順 1 ～ 4 をくり返してください。

FM/AM 放送局をマニュアルでプリセットする

FM/AM 合わせて最大 99 局までプリセットできます。

1 **プリセットする放送局を受信する。**

2 **[ENTER/MEMO] を押す。**
未登録プリセットの最小番号表示“P- -”が点滅します。

3 **[NUMBER]（0 ～ 9、+10）または [CH –、CH +] でプリセットする番号を選び、[ENTER/MEMO] を押す。**
受信周波数と受信モードをプリセットし、ディスプレイが放送局名入力表示になります。

ご注意
登録済みのプリセット番号を選ぶと、“*”を表示します。
このプリセット番号にプリセット内容を上書きするときは、[ENTER/MEMO] を押してください。

```
FM* P-01
        90.00MHz
```

4 **放送局名を入力する。**
最大 8 文字まで入力できます。
- [△、▽] .... 文字を選びます。
- [▷] .... カーソルを右に移動します。
- [CLEAR/DEL] .... 選択中の文字を消去します。

- 入力できる文字

A ～ Z, 0 ～ 9, ^ ' ( ) ＊ + , - . / = (空白)

- 放送局名を入れないときは、何も入力せず [ENTER/MEMO] ボタンを押してください。
- 間違えて入力したときは、再度おこなってください。上書きします。

5 **[ENTER/MEMO] を押す。**
文字の入力を確定します。
- 続けてプリセットをおこなうときは、手順 1 ～ 5 をくり返してください。

プリセットした放送局を聴く

[NUMBER]（0 ～ 9、+10）または [CH –、CH +] でプリセット番号を選ぶ。

本体でプリセットチャンネルの選択やチューニングをおこなうための設定

本体の <I◀◀/–、+/▶▶I> ボタンはプリセットチャンネルの切り替えとチューニングの兼用ボタンです。
操作の前に次の手順で本機を“プリセットモード”または“チューニングモード”に設定してください。

1 **[MENU] を押す。**

2 **[△▽] で“TUNER SETUP”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

3 **[△▽] で“MODE SELECT”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

4 **[△▽] で“PRESET MODE”または“TUNING MODE”を選び、[ENTER/MEMO] を押す。**

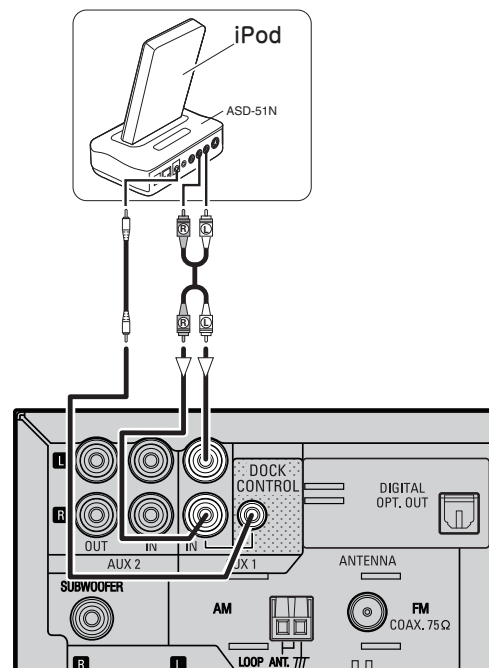
プリセットモード	本体の <I◀◀/–、+/▶▶I> を押すと、プリセットチャンネルを切り替えます。 • リモコンの [CH–、CH+] と同じはたらきです。
チューニングモード	本体の <I◀◀/–、+/▶▶I> を押すと、受信周波数を切り替えます。 • リモコンの [TU–、TU+] と同じはたらきです。

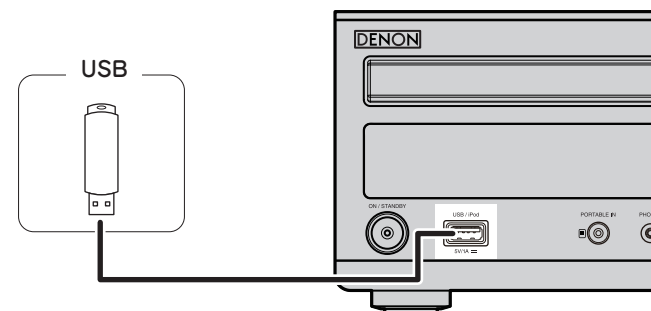
ここでは、iPod 用コントロールドック、USB メモリーおよび iPod の接続のしかたを説明します。
それ以外の接続については以下のページをご覧ください。

❑ **スピーカーの接続**（☞8 ページ）
❑ **録音機器の接続**（☞9 ページ）
❑ **アンテナの接続**（☞9 ページ）
❑ **電源コードの接続**（☞10 ページ）

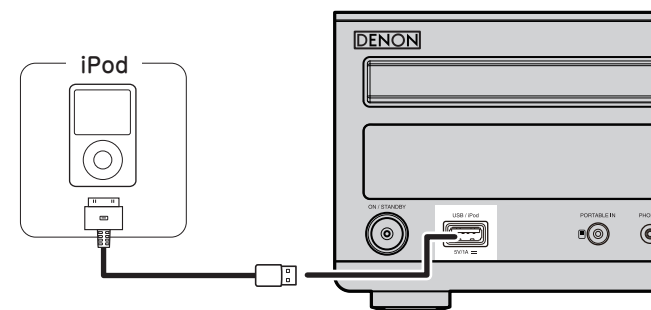
オーディオケーブル（別売り）
モノラルミニプラグケーブル
ステレオピンプラグケーブル（白）（赤）
iPod ケーブル

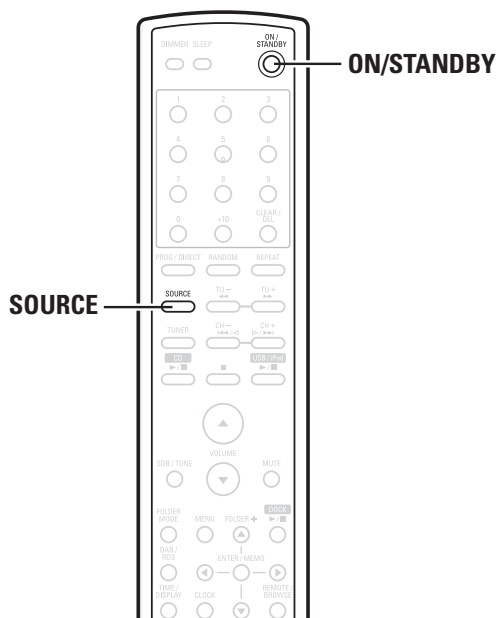
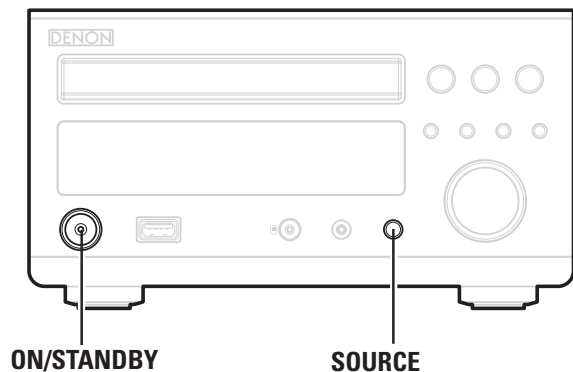
iPod 用コントロールドック

本機と iPod の接続には、DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-11R、ASD-3N または ASD-3W、別売り）をお使いください。

- iPod 用コントロールドックを使用するときは、iPod 用コントロールドック側の設定が必要です。詳しくは、iPod 用コントロールドックの取扱説明書をご覧ください。
- iPod を使用する場合は、「iPod 用コントロールドック /iPod® の再生」（☞21 ページ）を参照してください。

USB メモリー

NOTE

- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーの詳細については、「再生できる USB メモリーのフォーマットについて」（☞23 ページ）をご覧ください。

iPod®

- iPod に付属の iPod 専用ケーブルをお使いください。
- 本機は iPod（第 5 世代以降）、iPod touch、iPod classic および iPod nano の再生に対応しています。詳しくはホームページ（denon.jp）をご覧ください。

応用操作

準備

iPod 用コントロールドックを再生する前に

1 DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。
（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書 ）

2 **ON/STANDBY** を押す。

3 **SOURCE** を押して、“AUX1/Dock”を選ぶ。

USB または iPod を再生する前に

1 **ON/STANDBY** を押す。

2 USB メモリーまたは iPod ケーブルを接続する。
USB メモリーまたは iPod を本機の USB ポートに接続すると、ソースが自動的に“USB” に切り替わり、ファイルの再生を始めます。

❑電源を切るとき

もう一度 **ON/STANDBY** ボタンを押す。

ご注意

- 電源を切る前に、必ず再生を止めてください。
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

MP3やWMAファイルの再生順番について

MP3 や WMA ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

❑フォルダの再生順序

CD-R/CD-RW

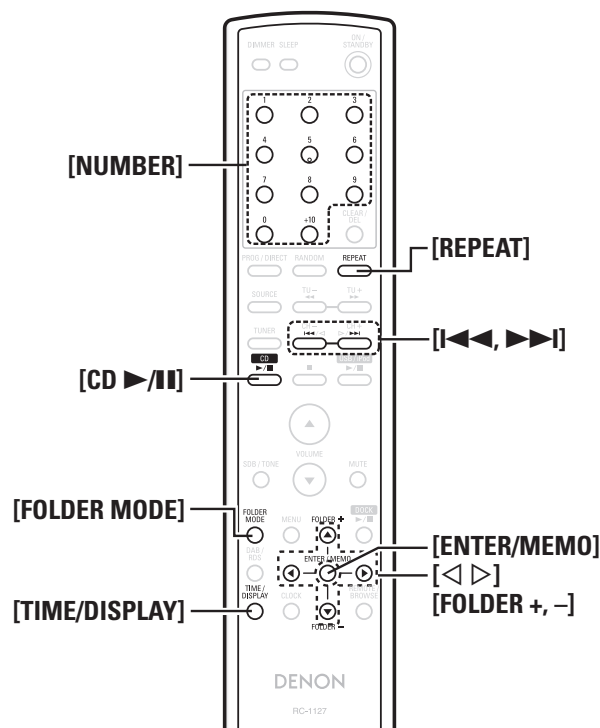
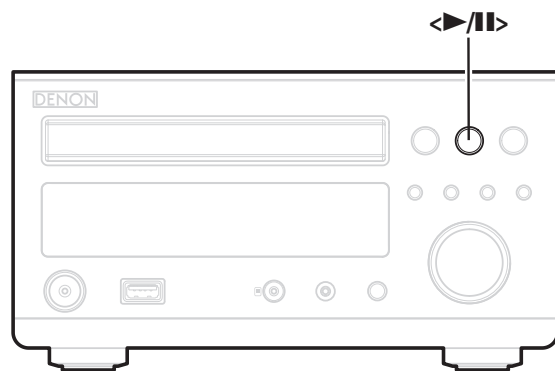
CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・、の順番に再生します。

USB メモリー

USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ･･･、を再生し、次に別の第一階層のフォルダ・・・、の順番に再生します。

- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

ご注意

USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

MP3 と WMA ファイルの再生

ここでは、CD-R または CD-RW に記録している MP3 と WMA ファイルの再生のしかたを説明します。CD-R または CD-RW 以外のメディアに記録しているファイルの再生は以下のページをご覧ください。

- ❑ **ポータブルプレーヤーを再生する**（☞23 ページ）
- ❑ **USB メモリーを再生する**（☞23 ページ）
- ❑ **iPod 用コントロールドック /iPod® の再生**（☞21 ページ）

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

“Windows Media”および“Windows”は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

MP3 と WMA のフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで作成した CD-R または CD-RW ディスクを再生できます。

❑ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1
他のフォーマットで記録している場合は、正しく再生できないことがあります。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数 : 255
最大フォルダ数 : 255

❑ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA (Windows Media Audio)

❑タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32～320 kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48 kHz	64～192 kbps	.wma

- ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを記録している CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる（☞3 ページ）.

2 [FOLDER MODE] でフォルダモードまたはディスクモードを選ぶ。

フォルダモード ←→ ディスクモード

【表示について】
フォルダモードのとき ········· “FLD”表示点灯
ディスクモードのとき ·············· “FLD”表示消灯

フォルダモード	選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
ディスクモード	選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 [FOLDER +、–] を押して、再生したいフォルダを選ぶ。

4 [⏮、⏭] または [◁ ▷] を押して、再生したいファイルを選ぶ。

5 <▶/❙❙> または [CD ▶/❙❙] を押す。

❏再生中にフォルダやファイルを変えるには

フォルダ

[FOLDER +、–] でフォルダを選び、**[ENTER/MEMO]** を押す。

ファイル

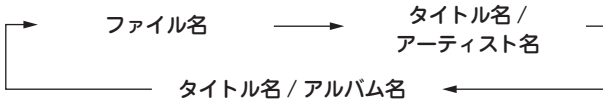
[◁ ▷] でファイルを選び、**[ENTER/MEMO]** を押す。

または **[I◀◀、▶▶I]** でファイルを選ぶか、**[NUMBER]**（**0**～**9**、**+10**）でファイル番号を選ぶ。

- 本機はディスク読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 書き込み用のアプリケーションソフトによっては、正しく書き込みができないものがあります。
- ディスクの記録状態によっては、正しく再生できないものがあります。

❏表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** を押す。

- 表示できる文字は次のとおりです。

A～Z	a～z	0～9

! ” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ ` ¦ { } ˜ ^ ’ ( ) ∗ + , - . / =（空白）

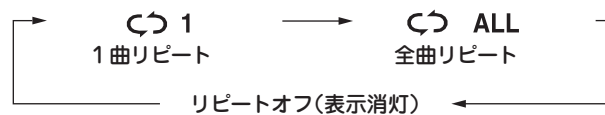
❏リピート再生するには

[REPEAT] を押す。

それぞれのくり返し再生を始めます。

- “フォルダモード” および“ディスクモード” では選択できるリピートモードが異なります。

“フォルダモード”のとき：

“ディスクモード”のとき：

【選択できる項目】

“フォルダモード”のとき：

1 FLD	選んだファイルのみをくり返し再生します。
FLD	選んだフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
FLD	フォルダモード再生に戻ります。

“ディスクモード”のとき：

「くり返し再生する（リピート再生）」（☞14 ページ）

❏ランダム再生するには

「順不同に再生する（ランダム再生）」（☞14 ページ）

MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。

iPod 用コントロールドック / iPod® の再生

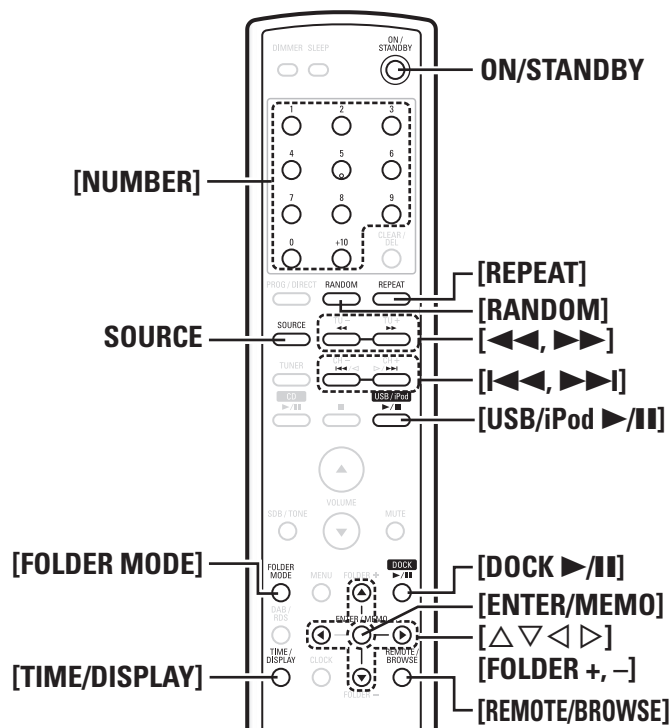
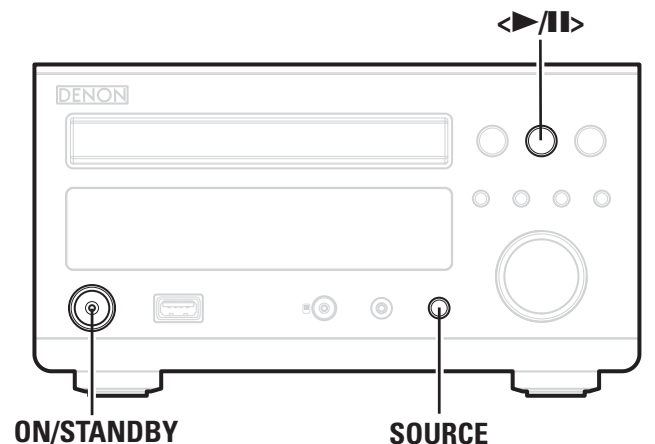
iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

“Made for iPod,” and “Made for iPhone,” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle および iPod touch は米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。

- iPod および iPhone は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

ご注意

- 万一、iPod および iPhone のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod および iPhone のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。
- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近付けていると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。

1 再生の準備をする（☞19 ページ「準備」）。

2 **[REMOTE/BROWSE] を押して、表示モードを選ぶ。**
押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機の ディスプレイ	iPod の ディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	✓	✓
	映像ファイル		✓
操作できるボタン	本機と 本機のリモコン	✓	✓
	iPod®		✓

3 **[△▽] でメニューを選び、[ENTER/MEMO] ボタンで再生したい音楽ファイルを選ぶ。**

4 **iPod 用コントロールドックの操作**

<▶/II> または [DOCK ▶/II] を押す。
再生を始めます。

iPod の操作

<▶/II> または [USB/iPod ▶/II] を押す。
再生を始めます。

❏リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンの ボタン	iPod の ボタン	本機の動作
USB/iPod ▶/II	**▶II**	再生 / 一時停止
DOCK ▶/II	**▶II**	再生 / 一時停止
I◀◀、▶▶I	**I◀◀、▶▶I**	オートサーチ（頭出し）
◀◀、▶▶（長押し）	**I◀◀、▶▶I**（長押し）	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
△、▽	クリック ホイール	カーソル上下
ENTER/MEMO or ▷	セレクト	設定の確定 / 再生
REMOTE/ BROWSE	–	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	–	リピート再生
RANDOM	–	ランダム再生
◁	**MENU**	メニューの呼び出し / メニューのリターン

❏本機のディスプレイ表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** を押す。
ボタンを押すたびに、切り替わります。

タイトル名 / アーティスト名 ←→ タイトル名 / アルバム名

✎

表示できる文字は次のとおりです。

A～Z	a～z	0～9

! ” # $ % & : ; < > ? @ | [ ] _ ` ¦ { } ˉ ^ ’ ( ) ＊ + , - . / = （空白）

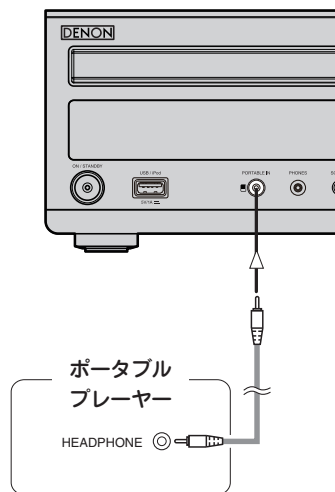
iPod を取り外す

1 **ON/STANDBY を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 USB ポートから iPod ケーブルを抜く。

ポータブルプレーヤーの再生

本機のポータブルジャックにポータブルプレーヤーを接続することで、ポータブルプレーヤーの音楽を再生できます。

ポータブルプレーヤーを接続する

本機とポータブルプレーヤーを、別売りのステレオミニプラグケーブルで接続する。

ポータブルプレーヤーを再生する

1 **SOURCE** ボタンを押して、“PORTABLE IN” を選ぶ。

2 **ポータブルプレーヤーを再生する。**
ポータブルプレーヤーの音楽を出力します。
- ポータブルプレーヤーの取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

ポータブルプレーヤーのヘッドホン端子を使用するときは、ポータブルプレーヤー機器側の音量を適度に上げてください。

USB メモリーの再生

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

本機は USB メモリーに保存している次のフォーマットで作成されたファイルを再生できます。

❑USB 対応ファイルシステム

“FAT16” または “FAT32”
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

❑再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：255 個
最大フォルダ数：255 個

❑ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

❑Tag データ

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32～320 kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48 kHz	64～192 kbps	.wma

本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生することができます。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USB メモリーを再生する

1 **再生の準備をする（☞19 ページ「USB または iPod を再生する前に」）。**

2 **[FOLDER MODE] を押して、“フォルダモード” または“メモリーモード”を選ぶ。**

【表示について】
フォルダモードのとき ············· “FLD” 表示点灯
メモリーモードのとき ············· “FLD” 表示消灯
フォルダモード：
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
メモリーモード：
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 **[FOLDER +、–] を押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **[I◀◀、▶▶I] または [◁ ▷] を押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **<▶/II> または [USB/iPod ▶/II] を押す。**

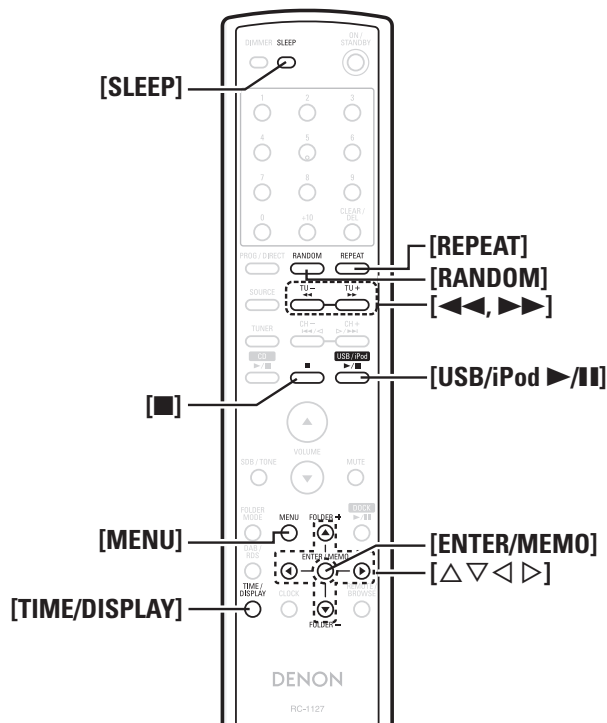
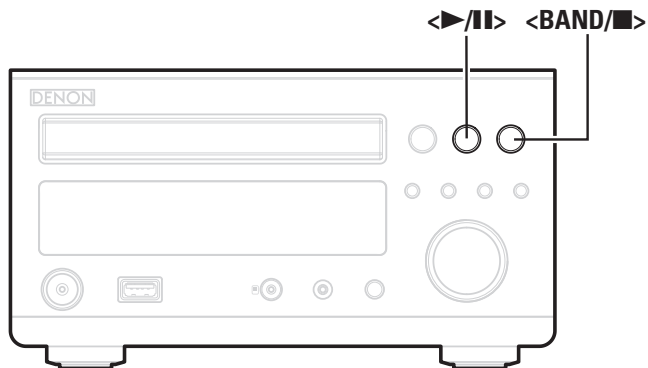
- ファンクションが USB 以外のときに **[USB/iPod ▶/II]** を押すと、ファンクションが “USB” に切り替わり USB メモリーに記録しているファイルを再生します（☞26 ページ「オートファンクション機能」）
- USB メモリーに記録しているファイルの再生順については、「MP3 や WMA ファイルの再生順番について」（☞19 ページ）をご覧ください。

❑再生中にフォルダやファイルを変えるには

フォルダ

[FOLDER +、–] でフォルダを選び、**[ENTER/MEMO]** を押す。

ファイル

[◁ ▷] でファイルを選び、**[ENTER/MEMO]** を押す。
または **[I◀◀、▶▶I]** でファイルを選ぶか、**[NUMBER]**（**0**～**9**、**+10**）でファイル番号を選ぶ。
- 本機は USB メモリー読み込み時にフォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

USB メモリーの再生

❏再生を停止するには

<BAND/■> または **[■]** を押す。

❏再生を一時停止するには

<▶/❚❚> または **[USB/iPod ▶/❚❚]** を押す。

❚❚ 表示が点灯します。

- 再生を再開するときは、もう一度 **<▶/❚❚>** または **[USB/iPod ▶/❚❚]** を押してください。

❏早送り / 早戻し(サーチ)をするには

再生中に **[◀◀、▶▶]** を押し続ける。

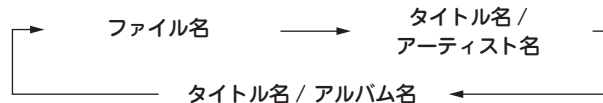
❏リピート再生するには

[REPEAT] を押す。

❏ランダム再生するには

停止中に **[RANDOM]** を押す。

❏表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

- 表示できる文字は次のとおりです。

A～Z　a～z　0～9

! ” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ ` ¦ { } ˉ ^ ’ ( ) ＊ + , - . / = (空白)

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

タイマー設定

本機では、タイマー再生(エブリディタイマー、ワンスタイマー)、スリープタイマー再生をおこなえます。

❏各タイマーの設定時刻が重複している場合のタイマー動作について

スリープタイマーを設定している場合

- スリープタイマーで設定している終了時刻で終了します。

ワンスタイマーとエブリディタイマーを重複して設定している場合(スリープタイマーを設定していない場合)

- 開始時刻を早く設定しているタイマーの開始時刻で開始します。
- 終了時刻を早く設定しているタイマーの終了時刻で終了します。

現在時刻が未設定のときにタイマー設定モードに入ると、時刻設定モードになります。

タイマーを設定する

- **エブリディタイマー(“EVERY DAY”)**
  毎日設定した時刻に、再生と終了(電源スタンバイ)をおこないます。
- **ワンスタイマー(“ONCE”)**
  1 回のみ、設定した時刻に再生と終了(電源スタンバイ)をおこないます。

1 **[MENU] ボタンを押す。**

2 **[△▽] で“TIMER SETUP”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**

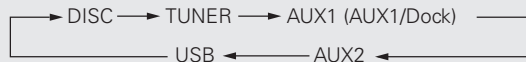
3 **[△▽] でタイマーモードを選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**

MODE SELECT
ONCE TIMER

ONCE ↔ EVERYDAY

4 [△▽] でソース選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。

SOURCE SELECT
DISC

DISC → TUNER → AUX1 (AUX1/Dock) → AUX2 → USB

- "iPod 用コントロールドックを接続したときに "AUX1/Dock"を表示します。

5 手順 4 で "TUNER" を選んだときのみ

[△▽] でプリセット番号を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。

- 選択したプリセット番号に名前を登録していない場合は、プリセット番号を表示したあとに周波数を表示します。

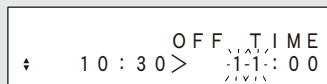
6 [△▽] でタイマー開始時刻の"時"を設定し、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。

ON TIME
10:00> 00:00

7 [△▽] でタイマー開始時刻の"分"を設定し、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。

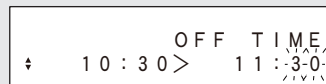
ON TIME
10:30> 00:00

8 [△▽] ボタンでタイマー終了時刻の"時"を設定し、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。

OFF TIME
10:30> 11:00

9 [△▽] でタイマー終了時刻の"分"を設定し、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。

OFF TIME
10:30> 11:30

10 [◁ ▷] でタイマーの"ON" または"OFF" を選び、[ENTER/MEMO] を押す。

- Ⓛ表示が点灯し、タイマー設定が確定します。
- 3 秒間、タイマー設定の内容を表示します。

ONCE TIMER ◀ON ▶
EVERYDAY OFF

ONCE TIMER ON
EVERYDAY ◀OFF▶

11 電源をスタンバイにする。

タイマースタンバイモードになり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

❑タイマーのオン / オフを設定するには

① **[MENU]** を押す。
② **[△▽]** ボタンで"TIMER ON/OFF" を選び、**[ENTER/MEMO]** を押す。
③ **[△▽]** ボタンで"ONCE"または"EVERY DAY"を選ぶ。
④ **[◁▷]** でタイマーの"ON" または"OFF" を選び、**[ENTER/MEMO]** を押す。続けてタイマー設定の内容を表示します。

- "OFF"にすると、タイマー動作が無効になりますが、タイマーの設定内容はそのまま残ります。

❑タイマー設定の内容を確認するには

① **[MENU]** を押す。
② **[△▽]** で"TIMER ON/OFF" を選び、**[ENTER/MEMO]** を押す。
③ タイマー設定の"ON" を表示したら、**[ENTER/MEMO]** を押す。
3 秒間、タイマー設定の内容を表示します。

❑タイマー設定の内容を変更するには

「タイマーを設定する」（☞24 ページ）の操作をおこなってください。

❑タイマー設定中に設定を変更するには

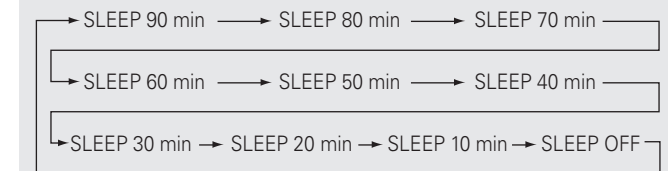
[◁] を押す。
ひとつ前の設定に戻ります。変更したい設定を表示させてから、設定をおこなてってください。

❑DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-11R、ASD-3N、ASD-3W、ASD-51N または ASD-51W）でタイマー設定をするとき

再生したい曲を一時停止状態にして、DENON 製 iPod 用コントロールドックの電源を常にオンにしておいてください。

スリープタイマーを設定する

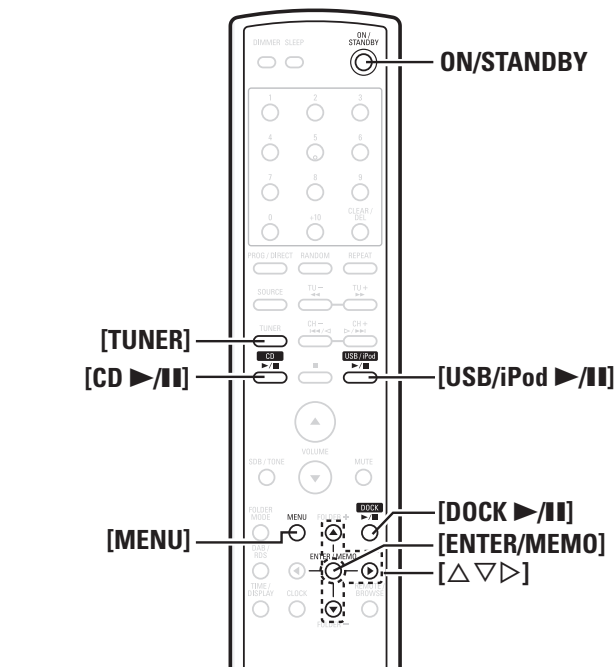
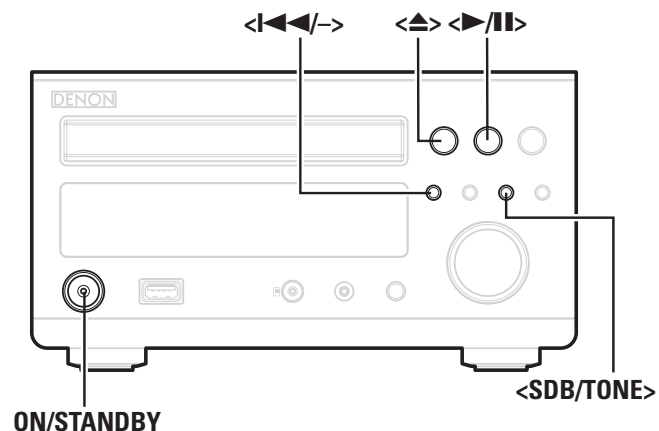
設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にします。10 分間隔で最大 90 分まで設定できます。

再生中に **[SLEEP]** を押して、設定時間を選ぶ。

- 約 5 秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。

❑スリープタイマーを解除するには

[SLEEP] を押して"SLEEP OFF"を選ぶか、**ON/STANDBY** を押す。

❑スリープタイマーが動作するまでの時間を確認するには

[SLEEP] を押す。

その他の機能

最適化フィルターを使用する

スピーカーシステム SC-M37（別売）または SC-E777（D-E777 システムの付属スピーカー）の特性に合わせた最適化フィルター機能を動作させます。

1 **[MENU] を押す。**

2 **[△▽] で“SPK OPTIMISE” を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

3 **[△▽] で“ON” を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**
設定が確定します。

ON	スピーカーシステム SC-M37（別売）または SC-E777（D-E777 システムの付属スピーカー）に最適な特性になります。
OFF	フラットな特性になります。

オートパワーオン

電源がスタンバイのとき、**ON/STANDBY** 以外の次のボタンで電源がオンになり、次の動作をおこないます。

- **<⏏>** .... ディスクトレイが開きます。
- 各ファンクションの **<▶/II>** .... 各ソースの再生を始めます。
- **[TUNER]**............... チューナーの再生を始めます。

ご注意

iPod 用コントロールドック使用時は、iPod のオートパワーオン再生はできません。

オートファンクション機能

次のボタンを押すとファンクションをそれぞれのファンクションに切り替えてから、それぞれのソースの再生を始めます。

- **[CD ▶/II]**................ ファンクションが“CD” に切り替わり、CD を再生します。
- **[USB/iPod ▶/II]** .... ファンクションが“USB” に切り替わり、USB を再生します。
- **[DOCK ▶/II]**........... ファンクションが“AUX1/Dock” に切り替わり、iPod を再生します。
- **[TUNER]**.................. ファンクションが“TUNER” に切り替わり放送を受信します。

オートスタンバイ

オートスタンバイをオンにして、30 分間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイモードになります。

1 **[MENU] を押す。**

2 **[△▽] で“AUTO STANDBY” を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

3 **[△▽] で“ON” を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] を押す。**
設定が確定します。

お買い上げ時のオートスタンバイ機能の設定はオフです。

ご注意

次のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。

- USB 端子に iPod または USB メモリーを接続しているとき。
- ソースが“TUNER”、“AUX1”、“AUX2”のとき
- ソースが“AUX1/Dock”で、iPod 用コントロールドックに iPod を接続しているとき（ASD-11R のみ）
- ソースが“PORTABLE IN” で、ポータブル入力端子に機器を接続しているとき

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種の設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。マイコンを初期化すると、各種の設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 **電源コードを抜く。**

2 **<I◀◀/–> と <SDB/TONE> を同時に押しながら、コンセントに電源プラグを差し込む。**
- "INITIALIZE"を点滅表示します。

手順 2 で"INITIALIZE" が点滅しない場合は、もう一度手順 1 からやり直してください。

用語の解説

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)
音声データ圧縮方式のひとつで、国際的な標準規格です。
映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。
音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4
デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。動画の規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

W

WMA (Windows Media Audio)
米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media®Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコード（符号化）することができます。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。
もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

かな

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス
交流抵抗値のことで、Ω（オーム）という単位であらわします。この値が小さいほど大きな出力が得られますが、アンプにかかる負担は増えます。本機が対応しているインピーダンスのスピーカーをお使いください。

ダイナミックレンジ
機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート（Bit rate）
ディスクに記録された映像 / 音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータを処理したかをあらわします。

ファイナライズ
録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

保護回路
何らかの原因で過負荷や過電圧などの異常が起きたときに、本機の電源をスタンバイ状態にする機能です。過負荷や過電圧から本機内部の回路の破損を防ぎます。

故障かな？と思ったら

❏ **各接続は正しいですか**

❏ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症状	原因	対策	関連ページ
本機が正常に動作しない。	• 外部からのノイズや妨害によって本機が誤動作している。	• マイコンを初期化してください。	27
電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音が出ない。	• 電源コードの差し込みが不完全である。	• 本機のリアパネルおよびコンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	10
ディスプレイは点灯するが、音が出ない。	• ファンクションと合っていない。 • 主音量が小さすぎる。 • 消音（ミューティング）モードになっている。	• 適切なファンクションに切り替えてください。 • 主音量を適切な大きさに調節してください。 • 消音（ミューティング）モードを解除してください。	12 12 12
表示が暗い。	• ディマー機能がはたらいている。	• DIMMER ボタンでディマー機能を解除してください。	12
突然電源が切れ、電源表示が赤色で点滅している。（0.5 秒間隔で点滅）	• 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいている。 • スピーカーケーブルの芯線どうしの接触や、芯線が端子から外れて本機のリアパネルに接触したために、保護回路がはたらいている。	• 一度電源を切って、本体の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。 • 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。 • 電源コードを抜き、芯線をしっかりとより直してから接続し直してください。	9 1 8
突然電源が切れ、電源表示が赤色で点滅している。（0.25 秒間隔で点滅）	• 本機が故障している。	• 電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	–

【リモコン】

症状	原因	対策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	• 乾電池が消耗している。 • 本体から離れすぎているか、角度が良くない。 • 本機とリモコンの間に障害物がある。 • 乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。 • 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）が当たっている。	• 新しい乾電池と交換してください。 • リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲内で操作してください。 • 障害物を取り除いてください。 • 正しい極性でセットしてください。 • 受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	4 4 – 4 4

【CD】

症状	原因	対策	関連ページ
CD を入れてもディスプレイが“00 Tr 00 : 00”表示になる。	• CD が正しく入っていない。	• CD を入れ直してください。	3
CD ▶/❚❚ ボタンを押しても再生しない。	• CD が汚れたり、傷が付いたりしている。	• CD の汚れを拭き取るか、他の CD と入れ替えてください。	3
ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	• CD が汚れたり、傷が付いたりしている。	• CD の汚れを拭き取るか、他の CD と入れ替えてください。	3
CD-R/CD-RW が再生できない。	• ファイナライズをしていない。 • 記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	• ファイナライズをしてから再生してください。 • 正しく記録しているディスクをご使用ください。	3 –
MP3、WMA のファイルが再生できない。	• ファイルフォーマット、または拡張子、またはディスク作成時の設定が本機に対応していない。	• 本機に対応したファイルフォーマット、拡張子、ディスク作成時の設定でディスクを作成してください。	20

【チューナー】

症状	原因	対策	関連ページ
FM 放送に“ザー”という雑音が入る。	• アンテナケーブルを正しく接続していない。	• アンテナケーブルを正しく接続してください。 • 屋外アンテナに接続してください。	9 –
AM 放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	• テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。	• テレビを消してください。 • AM 用ループアンテナの位置や向きを変えてください。	– 9

【iPod 用コントロールドック】

症状	原因	対策	関連ページ
iPod が再生できない。	• ファンクションと合っていない。	• ファンクションを切り替えてください。	19
	• ケーブルを正しく接続していない。	• 接続をやり直してください。	18
	• iPod 用コントロールドックの AC アダプターをコンセントに挿していない。	• iPod 用コントロールドックは、AC アダプターを挿していないと本機と通信することができません。	–

【USB】

症状	原因	対策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに"USB"を表示しない。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。	• 接続を確認してください。	18
	• マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。	• 本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。	–
	• 本機が認識できないデバイスを接続している。	• 故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。	–
	• USB ハブ経由で接続している。	• USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB メモリーも再生できません。	–
iPod が再生できない。	• ファンクションが"USB" 以外になっている。	• ファンクションを"USB" に切り替えてください。	19
	• ケーブルを正しく接続していない。	• 接続をやり直してください。	18
USB メモリー内のファイルが再生できない。	• USB メモリーのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	• フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB メモリーの取扱説明書をご覧ください。	–
	• 複数のパーティションに分かれている。	• 複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	–
	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録している。	• 対応しているフォーマットで記録してください。	23
	• 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	• 本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	23

保証と修理について

❑保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❑修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

• 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
• 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

• 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
• 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❑依頼の際に連絡していただきたい内容

• お名前、ご住所、お電話番号
• 製品名…………取扱説明書の表紙に表示しています。
• 製造番号………保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
• できるだけ詳しい故障または異常の内容

❑補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

❑お客様の個人情報の保護について

• お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
• この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❑ オーディオ部

- パワーアンプ部

実用最大出力：	30 W + 30 W（負荷 6 Ω、1 kHz、THD 10 % JEITA）

❑ チューナー部

受信周波数範囲：	FM：76 MHz～90 MHz	AM：522 kHz～1629 kHz
受信感度：	FM：1.5 μV/75 Ω	AM：20 μV
FM ステレオ分離度：	35 dB（1 kHz）	

❑ CD 部

再生周波数特性：	2 Hz～20 kHz
ワウ・フラッター：	測定限界（± 0.001%　W.peak）以下
サンプリング周波数：	44.1 kHz

❑ 時計 / タイマー部

時計方式：	クリスタル発振子（月差 1～2 分）
タイマー：	エブリディタイマー / ワンスタイマー：各 1 系統 スリープタイマー：最大 90 分

❑ 総合

電源：	AC100 V　50/60 Hz
消費電力：	80 W（電気用品安全法による） （スタンバイ時：約 0.3W）
最大外形寸法：	210（幅）× 115（高さ）× 308.5（奥行き）mm
質量：	4.3 kg

❑ リモコンユニット（RC-1127）

電源：	DC3V 単 4 形乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	49（幅）× 220（高さ）× 24（奥行き）mm
質量：	110g（乾電池を含む）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

DENON

デノンお客様相談センター

☎ **044-670-5555**

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx

後日のためにご記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

Printed in Japan　5411 10458 106DA